

北原リハビリテーション科の今

1995年に北原国際病院を開設し、「世のため人のため、より良い医療をより安く」、「日本の医療を輸出産業に育てる」の2つを経営理念として掲げて歩んでまいりました。今では北原国際病院、北原リハビリテーション病院、RDクリニック、北原ライフサポートクリニック、北原ライフサポートクリニック東松島の5施設にまで展開し、基本方針である「救急・手術からリハビリ・在宅まで一貫した医療の提供」を実現するべく、日々活動しております。

私たちは理念の実現に向けて、医療機関の枠組みを超えた「理想の医療」を追求しています。日本の病院機能を輸出し、「施しではない医療」にて持続可能な国際貢献を行う「医療の国際展開」事業に取り組んで参りました。そしてこの度、カンボジアに救命救急センターを立ち上げることが正式に決定しました。海外進出による日本医療の再生や日本経済の発展に貢献できるよう尽力しております。

KNIグループのリハビリテーション科はおよそ100名にまで増えました。運ばれてきたばかり患者を放っておかず入院日からリハビリ介入に出向くスタッフ。また畑仕事ができるようにと、リハビリプログラムに畑作業を取り入れる回復期スタッフ。働きたい希望を叶えられるよう、入院中から介入する就労支援室スタッフ。地域との繋がりを大切に、外出活動を積極的に取り入れるデイケアスタッフ。被災地で一人でも多くの被災者を救おうと奮闘する東松島スタッフ。言葉も通じない相手に、リハビリの大切さを伝えているカンボジアスタッフ。様々な活動をしているリハビリテーション科スタッフですが、皆「世のため人のため」に同じ方向を向いて働いています。

当日は、北原国際病院、北原リハビリテーション病院、デイケアセンターオリーブ、就労支援室の紹介とともに、当グループリハビリテーション科の活動をお伝えしたいと思います。私たちの歩んできた活動を少しでも共感頂けると、幸いです。

医療法人社団 KNI
リハビリテーション科 科長
一原 克